

働き方改革のための物理セキュリティ

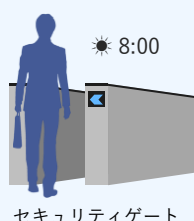
労働時間を適切に「把握」し「制限」する

「働き方改革関連法」施行に向け、企業は労働時間法制の見直しを求められています

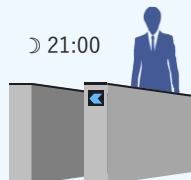
運用例

労働時間の「把握」

最初の入室 = 出勤



最後の退室 = 退勤



入室・退室時刻を自動的に記録



Point

自己申告に頼らない
客観的なデータを取得可能

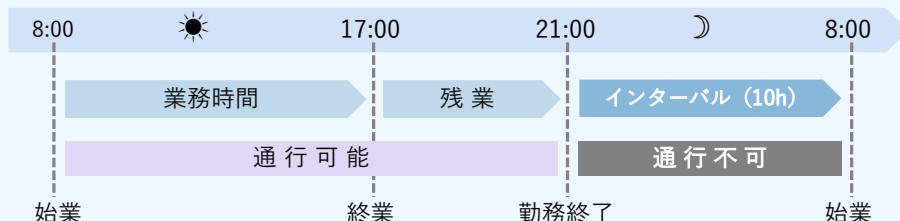
Point

人事データベースや
勤怠管理システムとの
自動連携で業務効率化

労働時間の「制限」

Point

申請の無い時間外の入室や
勤務間インターバル時間に満たない
時刻での入室や機器の利用を規制



特徴

ネットワークで全国拠点を一元管理

セキュアモニタを利用して各セキュリティ機器の管理から
従業員の労働時間の管理まで本部で一元的行うことができます



GGグラフィック表示ツール



入退室管理システムに蓄積されたデータから
任意のデータを抽出しグラフ化
各エリアの在室人数や部署ごとの平均残業
時間などを直感的に把握することが可能です